

企 画 提 案 書

Higashi-Izu Tourism Concept Promotion — Proposal Form

受付番号：

審査の視点

①
コンセプト
との整合性②
地域への
波及性③
持続
可能性④
実現
可能性⑤
独自性・
先進性*各項目を
意識して記入

1 提案基本情報

全評価項目の基礎

提案タイトル ※必須

提案の内容が一目で伝わるタイトルをつけてください。（30字以内）

記入例（ハード整備施策の場合）

「熱川地区の長年空き家となっている旧旅館を改修し、観光客が無料で休憩・情報収集できる回遊拠点を整備する」 / 「稲取地区の漁港周辺に統一デザインの案内サインと休憩ベンチを設置し、まち歩きルートを整備する」

提案者名・団体名 ※必須

代表者役職・氏名 ※必須

連絡先電話番号

メールアドレス

対象地区 ※必須（該当するものすべてに✓してください）

☐ 大川地区☐ 北川地区☐ 熱川・奈良本
地区☐ 片瀬・白田
地区☐ 稲取地区☐ 東伊豆町全
体

概算事業費（合計） ※必須

別紙「概算事業費積算書」に詳細を記載してください。

円（税込）

うち入湯税基金からの要望額

円（税込）

2 提案の概要

評価①②⑤に関連

何をしたいか、一言で教えてください。

「誰が・どこで・何を・どんな方法で行うか」を意識して、200字程度で書いてください。難しい言葉を使わず、地域への思いも含めて書いていただけると嬉しいです。

記入例（ハード整備の場合）

熱川地区の空き旅館（約築40年・2階建て）を改修し、観光客と地域住民が気軽に立ち寄れる「湯けむり休憩所」として整備します。あわせて熱川温泉街を回遊するための案内サイン（日本語・英語・韓国語対応）を新たに10か所設置します。施設の老朽化と観光客の「次に行く場所がわからない」という課題を同時に解決することで、熱川地区全体の滞在時間延長を目指します。

3 観光コンセプトとの関連

評価① 観光コンセプトとの整合性

何を書けばいい？ 対象地区のコンセプト（下の表参照）のどの部分と繋がっているか、具体的に説明してください。コンセプトのキーワードを引用しながら書くと伝わりやすくなります。

観光コンセプト（参考）

東伊豆町：日常と旅が重なるまち一住む人の快適さが、そのまま滞在の価値になるー
大川地区：清流とのどかな風土が育む自然のアトリエ、やすらぎと人情のおもてなし
北川地区：月と海を感じながら、歴史と坂の暮らしを歩く港町
熱川・奈良本地区：湯けむりが道しるべ、時間をあずけるまち
片瀬・白田地区：風景と人が迎える、ウェルネス散歩のまち
稲取地区：海と温泉、昭和レトロが織りなす癒しの港町

どのコンセプトのどの部分と一致していますか？

記入例（ハード整備の場合）

熱川・奈良本地区のコンセプト「湯けむりが道しるべ、時間をあずけるまち」に直接対応しています。「湯けむりが道しるべ」というキーワードのとおり、温泉の蒸気が立ち上る景観を活かした案内サインを整備することで、まちを歩きながら自然と次の目的地へ誘導される空間を実現します。休憩所の整備は「時間をあずける」という滞在型のコンセプトを空間として体现するものです。

4 地域への波及効果・回遊促進

評価② 地域波及性

何を書けばいい？ 地域全体（他の事業者・観光客・住民）への効果を書いてください。「回遊促進」「滞在時間の延長」「他地区との連携」などの視点があると高評価につながります。

この提案は地域全体にどのような効果をもたらしますか？

来訪者数・滞在時間・消費額・他地区との連携など、具体的な数値目標があればぜひ記載してください。

記入例（ハード整備の場合）

案内サインの設置により、温泉街を訪れた観光客が自力で周辺の旅館・飲食店・足湯スポットへ回遊しやすくなります。これまで1～2か所しか立ち寄らなかった観光客が平均3か所以上を訪れることを目標とし、地区全体の消費額増加につなげます。また休憩所の整備で団体客の集合・解散拠点ができるため、旅行会社からの造成ツアー誘致にも対応できるようになります。整備後1年間の回遊人数増加目標：月100名増（推計）。

5 継続・自走化の計画

評価③ 持続可能性

何を書けばいい？ 初年度だけでなく、来年度以降も続けられるかどうかを説明してください。「誰が・どんな収益モデルで・どのように運営していくか」を具体的に書くと審査員に伝わります。

令和8年度以降の運営主体

収益・費用の見通し（自走化モデル）

記入例（ハード整備の場合）

整備後の施設・サインの維持管理は熱川温泉旅館組合が担当します。休憩所内に地域特産品の販売コーナーを設け、売上の一部を維持管理費に充てる仕組みを想定しています（収支見込み：年間売上50万円、維持管理費30万円）。サインの清掃・補修は月1回、旅館組合員が当番制で実施する予定です。

6 実施内容と年間スケジュール

評価④ 実現可能性

何を書けばいい？ 「何を・いつ・誰が・どうやって」行うかを具体的に書いてください。スケジュール表に実施予定を記入し、無理のない計画であることを示してください。

具体的な実施内容

実施場所・実施回数・参加対象・実施方法などを書いてください。

年間スケジュール（令和8年度）

実施予定の月に「◎（メイン）」「○（準備・補助）」「△（検討中）」などを記入してください。

実施内容・フェーズ	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（例）現地調査・設計業者選定	◎	○						
（例）改修・サイン製作・施工			◎	◎				
（例）完成・公開・効果検証					◎	○	○	○

推進体制（誰がどのような役割を担うか）

記入例（ハード整備の場合）

【管理責任者】山田〇〇（熱川温泉旅館組合 組合長） / 【設計・施工監理】地元建築士（外部委託） / 【サイン製作】地元看板業者（外部委託） / 【施設管理】熱川温泉旅館組合（2名） / 【行政窓口調整】東伊豆町観光産業課

7 東伊豆らしさ・独自性・新規性

評価⑤ 独自性・先進性

何を書けばいい？ 「東伊豆でしかできないこと」「他の地域にはない新しさ」を自由にアピールしてください。あなたの地域への思いや熱量が伝わると、審査員の印象に残ります。

この提案ならではの独自性・東伊豆らしさを教えてください。

記入例（ハード整備の場合）

熱川温泉は源泉から吹き出す湯けむりが日常風景に溶け込んでいる、全国でも珍しい温泉地です。今回整備するサインはその湯けむりをモチーフにしたデザインとし、まちの景観と一体化した「歩いて楽しいサイン」を目指します。他の温泉地にありがちな画一的なサインではなく、地元の職人が製作する木製・陶器タイル仕上げのサインは、それ自体が観光スポットになり得ます。国内外のインスタグラムでの拡散も期待できます。

8 自由提案欄

審査委員に伝えたいこと、参考資料・添付書類の説明など、自由にご記入ください。